

平成 29 年度 第 1 回 日進市立図書館協議会議事録

日 時	平成 29 年 7 月 28 日(金) 午後 2 時 00 分から午後 3 時 45 分まで
場 所	図書館 2 階 会議室
委員出席者 (順不同)	(委員長) 堀部一成 (副委員長) 福永智子 (委員) 今村かおり、福岡克二、星野昭治、小島真奈美、嶋田明子、 水藤芳枝、鬼頭紗恵
委員欠席者	大久保恵理子
事 務 局	(教育長) 吉橋一典 (教育部長) 西村幸三 (図書館長) 近藤香織、 (主幹) 丹羽陽一 (館長補佐) 梅田昌嗣 (管理係長) 安藤英樹
傍聴の可否	可
傍聴の有無	無
次 第	1 あいさつ 2 委員任命及び自己紹介 3 委員長、副委員長選任 4 議題 (1) 平成 28 年度事業実績について (2) 平成 29 年度事業計画について 5 その他
資 料	(資料 1) 平成 28 年度 図書館事業報告 (資料 2) 平成 29 年度 図書館事業計画
発 言 者	内 容
事務局	開 会 (午後 2 時 00 分) ただいまから、平成 29 年度第 1 回図書館協議会を開催いたします。 はじめに、吉橋教育長よりごあいさつ申し上げます。
教育長	(あいさつ)
事務局	次第 2・委員任命及び自己紹介について、お手元に任命書をお配りして おりますのでご確認ください。 自己紹介を全員の皆様をお願いします。
委員	(自己紹介)
事務局	次第 3・委員長、副委員長の選任について、日進市立図書館規則第 18 条 の規定により、委員の互選にて委員長及び副委員長を置くことになっており

	ます。立候補及びご推薦はございませんか。
委員	堀部一成委員を推薦します。
事務局	委員長を堀部委員にとのご意見がありました。
委員	(異議なし)
事務局	それでは、堀部委員に委員長をお願いいたします。 次に副委員長について、立候補及びご推薦はございませんか。
委員	福永智子委員を推薦します。
事務局	副委員長を福永委員にとのご意見がありました。
委員	(異議なし)
事務局	それでは、福永委員に副委員長をお願いいたします。 委員長、副委員長には席をご移動いただき、日進市立図書館規則第 18 条第 2 項の規定に基づき議事進行を委員長をお願いいたします。
委員長	議題 (1) 平成 28 年度事業実績について、事務局から説明願います。
事務局	(資料 1・平成 28 年度 図書館事業報告の説明)
委員長	ただいまの報告について、ご意見等ございませんか。
委員	P.3 (4) について、障害者の表記は差別的な表現であるなど自治体によって様々な考え方があるが、日進市ではいかがですか。
事務局	かつて、福祉担当部署が計画を策定する際、障害者団体など多くの当事者の方との意見交換を行ったが、障害は自身に起因する害という意味ではなく、生活する上で社会には様々な障害があり、それを取り除いていこうという意図から、漢字表記で問題ないとのご意見を賜った。多様なご意見があるのは承知しているが、日進市では基本的に漢字表記で統一しています。
委員	以前は「障碍」という漢字を用いていたが、歴史の中で「障害」という漢字が使われるようになった経緯があります。
事務局	以前、この会議の中で同様のご質問を頂戴した。当時、委員の中に障害者団体からの選出当事者の方がおり、先ほどの事務局説明のとおり、漢字表記として社会の障害を考えていきたいと自らご説明された経緯もあります。
委員	P.3 (4) について、サピエ利用が昨年からは開始されたが、点字図書を

	置かれてはいかがですか。
事務局	点字図書は容易に印刷することができず、また一般図書と比較して相当なサイズとなるため、各々の図書館で個別に所蔵することが困難です。サピエ図書館というものがあり、無料でお届けすることができるので、視覚障害者など必要とする方に周知してまいります。
委員	館内の児童コーナーをみると、返すところがわからなくなった本を置く場所が設けられていた。違う棚に返されると、次にその本が探しづらくなるということの対策であるが、新たな発見であった。学校ではどのように対応していますか。
委員	同様であり、そこへ返すか常駐の司書に申し出るかの対応をしています。
委員	利用登録者は増加しているが、貸出点数が減少している要因は何ですか。
事務局	貸出点数について、過去の推移から減少傾向であるのは否めないところであるが、スマートフォンの普及などから本を手にする機会の減少、また時間的制約から労働者層が図書館に足を運ぶ機会が減っていることも要因のひとつであろうと考えます。学校と連携するなど子どもに対するアプローチの機会を増やすとともに、図書館に来なくても貸出・返却できるよう、市内に配本・返却場所を増やすなど、活性化に向けた取組みを考えてまいります。
委員	登録者数が増えているが来館者数が減少しているのは、カードを作ったがその後は利用せずにいる人が多いということですか。
事務局	そのとおりです。
委員	みよし市の新しい図書館は、一度に 20 冊まで借りられるようになっています。
事務局	みよし市や大府市など、新しく建てられたところは自動の貸出機が設置されていますが、本市では受付での手続となることから煩雑になるため、現状では人的な課題も含めて貸出点数を増やすのは難しいと考えています。
委員	P.5「3」配本事業について、福祉会館は6館あり、各々返却ボックスが設置されている。南部福祉会館では図書スペースが整備されているものの、尋ねたところ利用者は非常に少ないとのこと。また会館で図書館の本の予約ができるか尋ねると、インターネットや図書館で直接手続きをとることでした。
事務局	本の予約は、他の予約者の有無など確認事項も多くあり、システムがオンラインで共通化されていなければ受け付けることができません。現在のところ、福祉会館とは繋がっていないため予約はできませんが、返却や予約本の

	受け取りについては、職員が毎日直接回っているため対応が可能です。福祉会館の図書室は、その利用者のためのものであり、図書館との連携は今のところ考えておりません。
委員	P.6 (2) 市内小中学校への配本状況について、児童・生徒から直接ではなく、各学校の先生方からのリクエストにより対応しているものですか。
事務局	先生方から、授業の内容や修学旅行で使うなどある程度の内容をお示しいただき、それをもとに図書館で選書したものを数十冊単位でお貸ししています。
委員	P.3 (3) 相互貸借について、相手先は県立図書館が主になると思うが、他にはどこがありますか。
事務局	県内の公立図書館も対象となっており、蔵書点数の多い豊田市や一宮市の図書館からの借受が多くなっています。
委員	どのようなしくみで運用されていますか。
事務局	リクエストのあった本は、県立図書館を中継し、そこから各図書館へ仕分けされ、週1回の連絡便により受け渡しを行っています。県内の図書館にない場合は、岐阜県や三重県など全国の図書館からも貸借可能となっています。
委員長	よろしいでしょうか。 次に議題(2)平成29年度事業計画について、事務局から説明願います。
事務局	(資料2・平成29年度 図書館事業計画の説明)
委員長	ただいまの説明について、ご意見等ございませんか。
委員	P.5 「3」読書感想画展覧会について、市が独自で募集するのではなく、毎年学校が実施しているものですか。
事務局	子どもたちが同じ題目で2点作成することや、また取りまとめる先生方の負担も考慮し、市独自ではなく学校で募集する作品での展覧会を行います。
委員長	読書感想画の募集は2学期以降に行い、感想文とは課題図書も時期も全く異なるものとなっています。
委員	P.4 「7」配本事業について、赤池地区の商業施設への返却ポストは予定ではなく決定事項ですね。
事務局	相手方との調整中です。

委員	店舗内の場所の検討はされていますか。
事務局	調整中です。
委員	あるショッピングモールでは、フードコートに返却ポストが設置されており、非常に多く利用されている。設置する場所もご検討いただきたい。
事務局	店舗側の意向として、他店の真似はせず、また単に本の回収だけではなく、市との協働で図書館を宣伝する場所として活用したいと提案されています。我々にはありがたい申し出であり、双方の意向が合致するところを模索していきたいと考えております。
委員	全体の問題として、延滞の現状をお教え願いたい。
事務局	延滞して 2 週間が経過した者には直接連絡し、その後も手紙や電話など頻繁に催促しており、他館と比して延滞の件数は少ないのが現状です。大半が延滞を気にしており、またあまり長期に亘ると逆に申し出づらくなってしまいうこともあるため、そうならないよう小まめに連絡することを心がけています。
委員	P.5「4」ティーンズ向けブックリストについて、冊子形状とするのか、大きなポップ形式で張り出す形状とするのか。
事務局	具体的な内容は未定であるが、張り出す形状と想定しています。単なるリストではなく、中高生に興味を持たれるものとなるよう、提案者と調整を図ります。
委員	生徒との共作とするのですか。
事務局	共作は学校との調整も必要となるため、図書館からの提案とする予定です。
委員	P.5 子ども読書活動の推進について、子どもが参加しての活動は評価できるものであり、更に拡大されることを望みます。またP.1(1)レファレンス事業について、平成27年度と比較して28年度は大きく件数が減っているが、その状況についてお聞かせ願いたい。
事務局	レファレンスの件数は、平成28年度が約2,600件であるが、24、25年度は約1,400件、26年度は1,700件と推移する中で、27年度は4,000件と突出していたことが要因であり、27年度を除くと増加傾向にあります。お尋ねの内容により、すぐに回答できるものや調査に時間を要するものなど多岐に亘るため、利用者のニーズに適切に答えていくことが重要であり、レファレンスの専門性や使いやすさの向上などを考えてまいります。

委員	本の滅菌機について、まわし読みに抵抗がある人もいと聞く。殺菌作用にどれだけの効果があるのか疑問ではあるが、いかがでしょうか。
事務局	機器自体が高価なものであり、必要性や費用対効果など熟慮が必要です。
委員	みよし市の図書館も導入したが、市内の金融機関からの寄贈であった。
事務局	滅菌機には多様な種類があり、効果や処理能力も課題であると考えます。
委員	これまで、図書館の本が滅菌されていなくて何らかの問題が生じた人はいるのか、そのような観点で訴えていくことも必要であり、何でも抗菌というのでは、子どもたちが学校の図書室ですら本を借りられなくなってしまうことにもなります。逆に、本を汚さないよう大切に扱うことを教育すべきではないでしょうか。
事務局	図書館は本を借りるための場所であり、まわし読みが通常です。現在、スタッフにより目立つ汚れはアルコール等でふき取りを行っていますが、機器を導入して、1冊ずつ、ページごとの滅菌を行うことにどれだけのニーズがあるのか、把握しきれない面もあります。
委員	本の状態、管理について。館内の日当たりのいい棚では色あせている本もあり、紫外線等の対策についてはいかがでしょうか。
事務局	ブラインドで調整はしているものの、自然光を取り入れるという館の特徴から、致し方ない部分もあります。
委員	おはなしのへやの利用者の靴が、大人も子どもも整頓されていない。下足の床部分に揃えた靴の絵を表示したらどうでしょうか。
事務局	ご意見として賜ります。
委員長	よろしいでしょうか。 次に5.その他について、事務局から説明願います。
事務局	(事務連絡等)
委員長	本日の議題の全てが終了しました。 事務局へお返しします。
事務局	これもちまして、第1回図書館協議会を終了します。 ありがとうございました。

午後3時45分終了